

484T

224

年月日		船名		船番		配属		記	
年	月	日	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七
一九	六	一	六	二	ベ	ノ	ア	海軍運輸部	ギルマヌ発航行中
			六	六					荷役及待機
			六	六					ドラム缶外輸送
			六	八	ス	ラ	バ	ヤ	修理中
			七	六					修理完了試運転
			七	五					荷役及待機
			七	六					航空燃料外輸送

大東亞戦争徴傭船舶行動概見表甲(第五)自昭和十九年六月一日至昭和十九年七月三十一日
 海軍運輸部 スラバヤ海軍運輸部長海軍主計大佐 島津稜威雄

総噸数 二三〇噸

8821

1788

725

					至自	至自						至自	
ル ニ ニ	ル 九	ハ ニ ワ ン ギ	ハ ニ 九	ハ ニ 八	ハ ニ 七	ハ ニ 四	ハ ニ 三	ハ ニ 一 九	ハ ニ 一 ク ー パ ン	キ ニ 一	キ ニ 五	キ ニ 三	キ ニ 三
ク ー パ ン	ク ー パ ン	バ ニ ワ ン ギ		ス ラ バ ヤ						ク ー パ ン	バ ニ ワ ン ギ		バ ニ ワ ン ギ
廢機外輸送				航空油糧食輸送	荷役及待機	修理中		古器材輸送				待機	

684T

726

			至自	至自					至自			
二 八	二 七	二 九	二 八	一 三 五	一 四	一 一	九 三	九 六	九 五	九 二	九 七	九 六
		ス ラ バ ヤ				カ ン ゲ ア ン		ス ラ バ ヤ			ア ン ペ ナ ン	
	ワ イ ン ガ ソ フ				ス ラ バ ヤ		カ ン ゲ ア ン			ス ラ バ ヤ		ア ン ペ ナ ン
荷役		兵 器 外 輸 送	荷 役 及 待 機	防 弾 装 置 及 機 関 修 理 中		ド ラ ム 缶 外 輸 送		航 空 燃 料 外 輸 送	荷 役 及 待 機		精 米 外 輸 送	

K. 452 - 1249

1921

1920

728

年月日		船名	船種	船番	配属	記	噸数
至	自						
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	入渠船体機関修理中	
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	荷役	
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	武器及酒保品輸送	
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	荷役及待機	
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	航空燃料輸送	
ハニ	ハニ	スラバヤ			スラバヤ海軍運輸部	應急手當ノ為反泊	

大東亞戰爭徵備船航行動概見表 甲(第三回)

スラバヤ海軍運輸部 スラバヤ海軍運輸部長 海軍主計大佐 島津綾威雄

自昭和十九年六月一日 至昭和十九年十二月三十一日

總噸数 二三口噸

表 二

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
二〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
三〇	二〇	九	八	三	一〇	九	九
二	〇	九	四	三	〇	八	八
		ラセム			スラバヤ		
	スラバヤ			ラセム			
船体修理中		修理ノ急スラバヤニ引返ス	應急修理中	侵水甚シキ爲目的地ニ行ケス ラセムニ寄港	單品外輸送	荷役	侵水甚シキ急入渠修理
							入渠待機中

8621

1205

730

			船名 第一号 交通船			船番 番號			船主 斯ルヤ海軍運輸部		
年月日 昭和十九年六月一日			所 在 所			配 屬			總噸數		
六二			斯ルヤ海軍運輸部			島津 綾 威 雄			二三四噸		
			記 事			自昭和十九年六月一日			至昭和十九年七月三日		
			昔三月一日ヨリケチシ船列ノパシニ			向ケ航行中					
			本日ハヨロシキニ島南ノトガ世領			ヲクシ地区ヨリケチシ村沖海軍基地點			ニ於テ敵及空面機ノ襲撃ヲ受ケ		
			文戰被擧ニ依リニロノ遊及上流没ス								

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表 甲(第二回)

スルヤ海軍運輸部 第一号 交通船 船番 番號 船主 斯ルヤ海軍運輸部

島津 綾 威 雄

K. 580 - 1476

海軍

JES - B 5

231

年月日	項目	船名	船番	配属	記
至 自 六月二日	六 二	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月三日	六 三	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	糧食煙草外輸送
至 自 六月四日	六 四	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月五日	六 五	カンダアン島	カンダアン島	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月六日	六 六	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	航空燃料ドラム其他輸送
至 自 六月七日	六 七	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月八日	六 八	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月九日	六 九	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十日	六 十	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十一日	六 十一	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十二日	六 十二	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十三日	六 十三	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十四日	六 十四	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十五日	六 十五	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十六日	六 十六	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十七日	六 十七	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十八日	六 十八	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月十九日	六 十九	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十日	六 二十	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十一日	六 二十一	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十二日	六 二十二	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十三日	六 二十三	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十四日	六 二十四	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十五日	六 二十五	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十六日	六 二十六	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十七日	六 二十七	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十八日	六 二十八	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月二十九日	六 二十九	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機
至 自 六月三十日	六 三十	スラバヤ	スラバヤ	海軍運輸部	荷役及待機

海軍運輸部 船行動概見表 甲(第二回)
 昭和十九年六月一日 至昭和十九年十月三十一日
 島津稜威雄

(原見島切)

732

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
一八	八七	七六	六五	六六	七五	七六	七五	七六
三八	五五	元八	三三	六六	五五	四二	一	二八
					スラバヤ			カンゲアン島
			スラバヤ				スラバヤ	
入渠修理中(船体幾関)	入渠待機中	荷役	機械故障、急歸投	航海中	ドラム外輸送	機関修理及荷役		

733

大東亞戰爭徵偏船航行動機見表 甲(第三回) 自昭和十九年六月一日 至昭和十九年十月三十一日

スラバヤ海軍運輸部 スラバヤ海軍運輸部長 海軍少計大佐島津稜威雄

船名 第一四号交通船 船舶番號

年月日 船月 船日 船時 船所 船着

自一九四〇年六月一日 至一九四〇年六月三十一日

七、三九

七、二八

八、一六

八、一七

八、一五

八、一七

八、一八

八、一八

配属 海軍運輸部

記

總噸數

二三〇噸

事

續送任務船(ロケット方面)

全 六回(ロケット方面)

材木輸送

荷役及行儀

器材外輸送

荷役

精米外輸送

海

734

九、七	九、六	九、五	九、三	九、二	九、一	九、〇	九、七	九、六	九、四	九、三	八、三〇	八、二九	八、二三	八、二二
ヘ ノ ア			ス ラ ハ ヤ				ア ノ ノ ナ ン		ヒ ア		ス ラ ハ ヤ			
		ヘ ノ ア				ス ラ ハ ヤ		ア ノ ノ ナ ン		ヒ ア			ス ラ ハ ヤ	

精米輸送

荷役

航揮 器材輸送

荷役

精米輸送

ドラム缶輸送

兵器糧食輸送

荷役

735

		至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇	至自 二、三〇 二、三〇
			スラッパ			スラッパ			
									スラッパ
		航海中	引卸作業	引卸作業	待機	待機	機内修理中	機内修理中	荷役及待機

JIS - B 5

K. 580 - 347 G

6621

736

自 一 九 一 六 一 一 三	年 月 日 項 目	船 名 第 三 號 交 通 船	船 舶 番 號	所 在 地	配 屬	機 関 故 障 急 入 渠 修 理 中	總 噸 數	二 三 〇 噸	事	大東亞戰爭徵備船舶行動概算表(第百圖)	
										至 一 九 一 六 一 一 三	
海軍運輸部			海軍主計大佐			島津稜威雄		自昭和十一年一月一日至昭和十一年三月三十一日			

海軍

JES-B5

K. 500 - 1476

八、七	八、六 八、五	八、四	八、二	七、三 七、二 七、一	七、一 七、二	七、三 七、二 七、一	七、一 七、二	七、七	七、六	六、七
ペノア			スランバヤ		ハツノバヤ			タラカン		セブ
		ペノア		スランバヤ		ハツノバヤ			タラカン	
燃料輸送	荷役		兵器外輸送	荷役及荷役	僚船九隻ト共ニスランバヤ着	荷役		待機		

海軍

239

至自	ハ、一〇		アン。ハ。ナ。ン		精米輸送
	ハ、一	アン。ハ。ナ。ン			
	ハ、一三		スラバヤ		
至自	ハ、一四				荷役及侍役
	ハ、一六				
	ハ、一七	スラバヤ			
	ハ、一八		ペノア		
	ハ、一〇				
	ハ、三〇				荷役
	ハ、三三		スラバヤ		
	ハ、三四				荷役
	ハ、三五	スラバヤ			糧食外輸送
	ハ、三六				
	ハ、三九				
	ハ、四〇				
	ハ、四一				
	ハ、四二				
	ハ、四三				
	ハ、四四				
	ハ、四五				
	ハ、四六				
	ハ、四七				
	ハ、四八				
	ハ、四九				
	ハ、五〇				

(底見鳥也)

740

					九、二	ハリツクハヤ		普通輸送
					九、六		スラバヤ	
				至自 九、八七				荷役
				至自 九、九				待機及修理中
				九、三〇	スラバヤ			兵器糧食輸送
				一〇、四		マカヤル		
				一〇、五				其子三根可官計等ニ依ル 任務ニ従事シタ

洋

...

1804

1804

741

年月日	船名	船番	郵便	部	事項	補給
自 一九一六 六月	第一興國丸		郵	海軍運輸部	當地廻航途次島嶼滞在中	
	高雄		屬			
	六三三	サムルヤント				
	六二四	サムルヤント				
	六二五	マニラ				補給
	六一六					
	六一七	マニラ				補給
	六一八	ハコロロト				

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表 甲 第二回 自 昭和十一年六月二日 至 昭和十一年七月三日
 海軍運輸部長 海軍主計大佐 島津綾威 雄

1805

742

至自		至自		至自	
八、 五	八、 六	八、 四	七、 三	七、 二	七、 一
	コタバル	バリックパン	タラカン	ガンボアング	バコロド
スラバヤ	コタバル	バリックパン	タラカン	ガンボアング	
僚船十四隻ト共ニスラバヤ着		補給	補給	補給	

743

至	八二	スラバヤ			商役及待機
入	八二				ドラム缶外輸送
至	八三	シंगाライヤ			
入	八三				
至	八四	シंगाライヤ			
入	八四				
至	八五	アロール島			商役
入	八五				食糧外輸送
至	八六	アロール島			
入	八六				
至	八七	エンドー			
入	八七				
至	八八	エンドー			
入	八八				
至	八九	エンドー			
入	八九				
至	九〇	エンドー			
入	九〇				

(英元島船)

1807

744

至自	至自	至自	至自	至自							
一、一、二六	一、一、二五 一、一、二三	二、二、二	一、一、二八 一、一、二七	一、一、二四 一、一、二二	一、一、二一 一、一、一九	一、一、一八 一、一、一七	一、一、一五 一、一、一三	一、一、一〇 一、一、〇九	九、三〇	九、二九	九、二八
バンジャルマン			バリックパパン	スラバヤ			スラバヤ		シンガポ		ロイヤル
		バンジャルマン								シンガポ	
石炭輸送	荷役及機関修理		航空燃料外輸送	荷役及待機					荷役		設備材外輸送

諸君

608T

746

昭和十九年 十月二十三日	十月二十四日	十月二十五日	十月二十六日
黒崎	黒崎	若松	相之島

相之島	若松	黒崎	黒崎
		佐鎮	

假泊
假泊

海軍徴傭船トナル
セメント輸送任務

船名
第一
安丸

船主
安丸

船種
貨物船

在
五三三九丸

記
噸數

一八一

争

佐輸功第 三 號

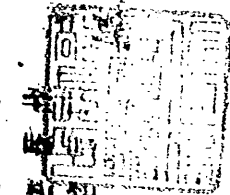
大東亞戰爭 徵傭船航行 勸修見

四七二 十月十八日

船種第一〇二

凡所轄長職務執行者

近世海軍運輸部長 海軍少將 近藤 廉次郎



昭和十九年十一月二十一日

747

十月二十四日	十月二十四日	十月二十四日	十月二十四日	十月二十四日	十月二十四日	十月二十四日
佐世係	大浦	大浦	大浦	佐世係	相ノ浦	呼子
板ノ浦	佐世係	佐世係	大浦	大浦	佐世係	相ノ浦

天候不良多ク假泊
 假泊
 假泊
 エメント陸揚
 碇泊中
 天候風浪高キ多ク假泊

748

十一月二十六日	板、浦	口、津	假泊
十一月二十三日	口、津	口、津	
十一月二十七日		島原	
十一月二十八日		島原	
十一月二十八日		島原	豊仙造船所より船体修理中

終

毎

1812

749

船名		項目	年月日	所着	配屬	記
第一鳳菜丸		船番號	昭和十九年六月一日		香港配屬中 (東嶺言成隊)	主トシテ左記ノ任務ニ從事ス 一、近海ニ於ケル敵艦艇航空機監視哨戒 二、分担海面ニ於ケル海上交通保護 三、非占領地域ヘノ軍需物資補給遮断 四、敵國並之ニ準ルベキ中立國船舶ノ拿捕抑留 五、電齡島及沱瀾島ノ確保
		司令官	自十九年六月一日 至十九年十一月十日			總噸數 一五二

大東亞戰役徵備船舶行動概見表甲

自十九年六月一日
至十九年十一月十日

香港方面特別根據地隊司令官

海軍少將 藤田 鐵

海軍

251

大東亞戰役徵備船舶行動概見表甲		自十九年六月一日		至十九年七月三十日	
香港方面特別根據地隊司令官		海軍少將大熊讓			
船名	第二鳳萊丸	船舶番號	四三二〇四	總噸數	五二
年月日	昭和十九年六月一日	配屬	香根郵船中 東警戒隊	記	主トシテ左記ノ任務ニ從事ス 一 近海ニ於テ敵艦航空機監視 二 分相海面ニ於テ海上交通保護 三 非占領地域へ軍需物資補給 四 敵國並之準スベキ中立國船舶ノ拿捕抑留 五 龜齡島及沱瀆島ノ確保
至自		着在		事	

海軍

1815

752

海軍

大敵機未襲ニ對スル戦闘

(終)

753

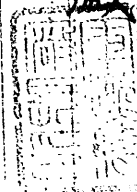
海軍

自 一九三〇 年九月二二日	至 一九三〇 年九月二二日	船名 第光洋丸	船舶番號 三九一〇〇	總噸數 二七三八噸
項目 燃料	發所 サマリンダ	船泊番號	配屬 第百一海軍燃料廠	記 事
	着在 ハリタパン		配屬 總務部配屬	
			配屬 第百一海軍燃料廠	
			配屬 軍需資材輸送任務三回(サマリンダハリタパン間)	

百一燃廠機密第二號ノ一五三ノ二

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表甲
第百一海軍燃料廠長海軍少將 黒原退藏

自昭和十九年九月二十日
至昭和十九年十一月二十日



2181

754

軍備秘

船警功第一八號

一八三九九

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表
自昭和十九年十月十七日
至昭和二十年一月三十一日

船舶警戒部長 海軍中將 宮里秀徳

船名 第七近油丸 船舶番號 五四六一。 總噸數 八三四

年月日 一月二日 着地名 摩 務 配 屬 記 事

一月二日 吳橋 泥油輸送 船舶運營會 兼船以來七日迄播磨在泊

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

一月二日 吳橋 泥油輸送

1819

1818

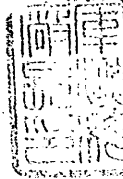
756

年 月 日	船名	所	在	配	属	噸數	記	事
元 九 二一	丸	サマリンダ	着		第百一海軍燃料廠	四五八八七		第百一海軍燃料廠第一調査隊ヨリ
九 二六	丸	サマリンダ						
九 二七	丸	サマリンダ						
九 二七	丸	ロアール						サマリンダ「ロアール」向軍需資材輸送
九 二九	丸	サマリンダ						
二 九 三	丸	サマリンダ			料燃軍海			於「サマリンダ」防空施設ニ從事

百一燃廠機密第二號ノ一五三ノ二

大東亞戰爭徵備船舶行動概見表甲
昭和十九年九月三日
至昭和十九年五月廿五日

第百一海軍燃料廠長海軍少將 黒原 退藏



英領全業十三行洋紙（花筒箱）

